



短歌

末武 有二 選

キユッキユツと靴音高く軋ませて縦横無尽に
猛けるバスケマン 安永 守住 孝子

木目込みの雛は吾が為作りたる桃の節句に愛
おしみ飾る 惣領 島田 廣子

我が庭の白木蓮の花見つつ妻となる日の孫を
想えり 惣領 垣野 幸一

岩抱く猫伏石の大銀杏子どもと遊ぶ祠の仏
惣領 甲斐 道夫

久しぶり木山初市楽しんだ市だご求め列に入
り込む 広崎 辻 恵美子

川べりの桜のつぼみ膨らみてそぞろ歩けば木
山初市 木山 赤城 香織

山肌野焼きの炎駆け上がり大地の芽吹き促
す神事 広崎 日野ヒロ子

春来ても風は冷たい阿蘇谷に渡りたくなる赤
い大橋 惣領 新居 露子

空家にも梅咲き誇り実を残す寂しくも春は
優しい 広崎 大原 郁

肥後椿真つ赤な八重が目染みる弾む心の嬉
しさよ 馬水 増田 訓子

自家製のザボン砂糖煮頬張ればほんのり苦味
の高級ゼリー 木山 本田 龍子

投稿は、一人一首(句)でお願いします。

俳句

河野 全平 選

売出日リュックの中身は福ぶくろ
春将棋八冠負けたニユースなり

三輪車孫の指さす白木蓮
春風に白髪踊る気も躍る

祖母直伝大根煮なます十八番なり
日替わりで夏衣冬衣の忙しさ

花見酒大阪場所とコラボかな
梅の香や両手に花の二刀流

ランドセル背負えばママの手を離れ
一句鑑賞
外にも出よ触るるばかりに春の月

木山 鎌田 隆子

木山 友田 春雄

古閑 今村 恒心

惣領 野々口トミ子

木山 本田 龍子

赤井 増岡 伸禧

宮園 米村 盛子

小池 高木 理恵

中村 汀女

布田川左門 選

「お題」 自由詠

深呼吸ハナミズぼとりスギ花粉

若僧侶の講話髪型パーマなり

天気図や春と冬のせめぎ合い

畦を焼く煙の中を郵便夫

「お題」 地震

安普請若い夫婦の息づかい

南海の地震の備え油断せず

「あつ地震」震度1でも身構える

鮮魚店横目に帰る釣師かな

馬水 倉本研一郎

木山 本田 龍子

広崎 辻 恵美子

熊本市 境 眞木子

赤井 増岡 酔粋

木山 マザーズS

鎌田 隆子

野宮 逸吉

次回のお題 「国会」

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場
広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。



益城の文化財
町文化財保護委員会

木山

横町通りの神仏

木山地区は古くからコメや材木の集荷拠点地として栄え、上町・下町・横町の一帯に130の店舗が軒を連ね、商店街を形成した時代もあります。

木山神宮の門前町として発展した横町通りは道路が拡幅され、地震で倒壊した神仏は地区の皆さまにより新たな場所に移されました。蛭子町という地名の由来と伝えられる「蛭子さん」は、地震の被災により建て替えられたきやま座前の立派な社に祭られました。

後・木山氏の菩提寺である道安寺ゆかりの「六地藏」は、架け替えられた木山橋のたもとへ移されました。

「床間の猿田彦大神」は元のままの位置で修復され存在感が増しました。

「横町地藏」は子どもたちの学び